

話題がいっぱい!  
なかゆくい



9/6 (木)・7 (金) 栄養豊富な「桑の実ソルベ」  
いただきます

9月8日の「桑の日」にちなんで、市内小中学校16校と幼稚園8園の給食に沖縄特有の地域資源であるシマグワ(島桑)を使用した「桑の実ソルベ」が提供されました。桑の実には、ポリフェノールやビタミンC、カルシウム、鉄分などが多く含まれています。

市共同調理場の職員によるパネルを使った桑に関する説明もなされ、生徒たちは興味津々の様子でした。仲西中学校2年の鯉沼千隼さんは桑の実ソルベを食べて「桑の実の味がしっかりしている。甘さも酸っぱさも楽しめる」と笑顔で感想を述べてくれました。



9/6 (木) 20年ぶりの快挙! 小3で日本一

輝くてだこ市民賞の表彰および記念品の授賞式が市長応接室にて行われました。受賞者の川畑拓也くん(港川小3年)は、今年の7月31日から8月1日に東京で開催された「第39回少年少女囲碁大会」で、小学生の部で優勝を修めました。小学3年生での優勝は、七冠を達成して国民栄誉賞を受賞した井山裕太棋士以来、20年ぶりの快挙となります。

市長から年上との対戦は緊張しなかったかという問いに、川畑くんは「お父さんや高校生のお兄さんといつも対戦しているから全然緊張しなかった」と頼もしく話してくれました。



9/4 (火) つながるゆいレール  
開業に向け着々と

浦添市消防本部前の地下トンネル入口付近で、沖縄都市モノレール軌道桁連結式典が行われました。式典では、参加者が最後の軌道桁の締結ボルトを締め、那覇空港駅からだこ浦西駅まで約17キロが一本につながりました。今後は開業に向けて、駅舎の内装整備や新駅間の送電および通信整備などを行います。

松本市長は「モノレールが多くの市民の生活スタイルの一部となるよう、そして、まちのにぎわいにつながるよう、これからもワクワクするまちづくりを積極的に取り組んでまいります」とあいさつをしました。



9/9 (日) 伊祖グスク  
国指定文化財記念ウォーク

伊祖グスクが国の文化財・名勝「アマミクヌムイ」へ追加指定されることを記念して、「アマミクの聖地・伊祖グスクをあるく」が開催されました。

当日は参加者101人が5班に分かれ、うらおそい歴史ガイドの案内でグスク内の拝所や伊祖集落内を歩きました。参加者は、グスクの伝説などに熱心に耳を傾け、グスクに広がる自然に触れながらウォークを楽しみました。

公民館では伊祖自治会によってふるまわれた「イージュアングギー(伊祖のてんぷら)」に舌鼓をうち、参加者は「ガイドの話が分かりやすく、資料なども大変参考になった」と満足な表情を見せました。



9/7 (金) 日ごろの訓練の成果を披露  
消防団操法大会

中城村の沖縄県消防学校で、中部地区の消防団員が日ごろの訓練で身につけた技術を競い合う、「消防団操法大会」が実施されました。この大会は、消防団員の技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に毎年開催されています。

今年の大会は中部地区の6つの消防団が参加し、消防ポンプ車などを使い標的に向かって放水する技術を競いました。本市消防団は「小型ポンプ操法」の部で見事優勝を果たし、出場者の上原聖也さんは「それぞれの仕事が終わったあとに集まって訓練してきました。日ごろの訓練の成果が出て嬉しい」と喜びの言葉を述べました。



9/6 (木) チームの励まし合いで勝ち取った優勝

第31回全国小学生ハンドボール大会で優勝した浦城小学校女子ハンドボールクラブの皆さんが輝くてだこ市民賞第41号を受賞しました。

キャプテンの又吉虹歌さんは「みんなが目標にしていた全国制覇を達成することができてとても嬉しいです。試合では誰かが失敗しても励まし合いお互いに頑張るというチームのモットーをやり通したことが勝利につながったと思います。これからもさらにレベルを上げていけるように頑張りたいです」と力強く話しました。



8/31 (金) 成長して帰ってきました

アメリカでの24日間の短期留学を終えた5人の派遣生徒たちが、異文化体験を通して感じたことや現地での様子を、写真などを交えながら報告しました。

「現地での食事や生活習慣に戸惑うこともあった」と話す生徒たちでしたが、港川中学校の金城希羽さんは「なんでもチャレンジする、をモットーに日本ではできない挑戦をたくさんして刺激を受けました。また、自分の英語スキルが納得いくものではないことにも気づけたので、今後もしっかり勉強していきたいです」と笑顔で述べました。